

万博会場に「いのちの森」を！

～桜をはじめ世界の人々が愛する花木×日本文化×最先端技術が
“いのち輝く世界の未来”を拓く～

企画（案）

2020年12月版

資料作成：一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構

提案構成

1. 「いのちの森」の可能性

2. 日本文化・最先端技術の融合で「いのちの森」を創る

3. 「いのちの森」の考え方

4. 「いのちの森」における演出（花木）

5. 「いのちの森」における演出（ICT・AR・VR）

1. 「いのちの森」の可能性

「いのちの森」は、万博の魅力が多層化させる

【時間軸】日本の万博の歴史継承と未来に向けて

- ・1970年大阪万博の日本庭園、1990年の花の万博からつながれてきた人々の想いを木々に託し、未来の「いのち」につなげる。大阪の時間軸の継承と地球の持続可能性、未来を表現するエリアとしたい。
- ・太閤秀吉は、長い戦乱が終わった祝祭として「醍醐の花見」や「北野大茶会」を実施された。こうした大名から庶民まで茶席を設けて良いという「多様な参加型イベント」の精神を継承し、21世紀の花見は、世界平和、SDGsを願う。
- ・世界に広がる花見やお茶、祭りといった「文化」を一同に集め、「いのち」の営みを感じる万博とする。

【会場軸】会場のもう一つの魅力として

- ・「いのちの森」は、都市と自然と人の融和、「いのち」の営みを考える重要な空間としたい。
- ・「いのちの森」は「考える」のではなく「感じる」に重きを置く。
- ・環境表現・舞台・芸能・歌・祭り・食等による演出で、文化エンターテインメントを通じて「いのち」の賛歌を感じる万博としたい。

【国際交流軸】世界の多様性と調和を願うエリアとして

- ・内外の交流の象徴であるお祭りや、各国の花にちなんだお花見文化をはじめ、世界中に伝えられてきた文化を発信・体験し、「世界の多様性と調和」を考える空間としたい。
- ・成熟国で開催する2025大阪・関西万博は、新興国で開催する文明軸（=技術）の万博だけでなく、人間の「いのち」の歩みを感じる万博として多様性を感じる文化軸（=人間）も重視する。

【全体】日本的なものを体現するエリアとして

- ・日本文化の根底にある、「静と動」、「四季」、「昼夜」、「人と自然の共生」を、その象徴となる日本中の桜の銘木と世界の人々に愛されている花木で森を創り、花見ができ、世界中から参加したくなる演出をして、幸せな体験が世界の人々の思い出となるリアにする。。
- ・桜など花木とゆかりが深い、能、和歌をはじめとして、開催地である大阪・関西への理解を内外の皆様に広めて頂くために、日本の文化をPRする。
- ・また、全国的な桜の名所とそこに継承されてきた文化も集い、日本で開催される「いのち」の万博として盛り上げる。

－春：桜、ハナミズキ
－夏：夏椿、ジャカラダ
－秋：もみじ



山高神代桜 樹齢1800-2000年
(富士の国やまなし WEBサイトより)



柱/森 藤本壮介氏作品
(GAJapan WEBサイトより)



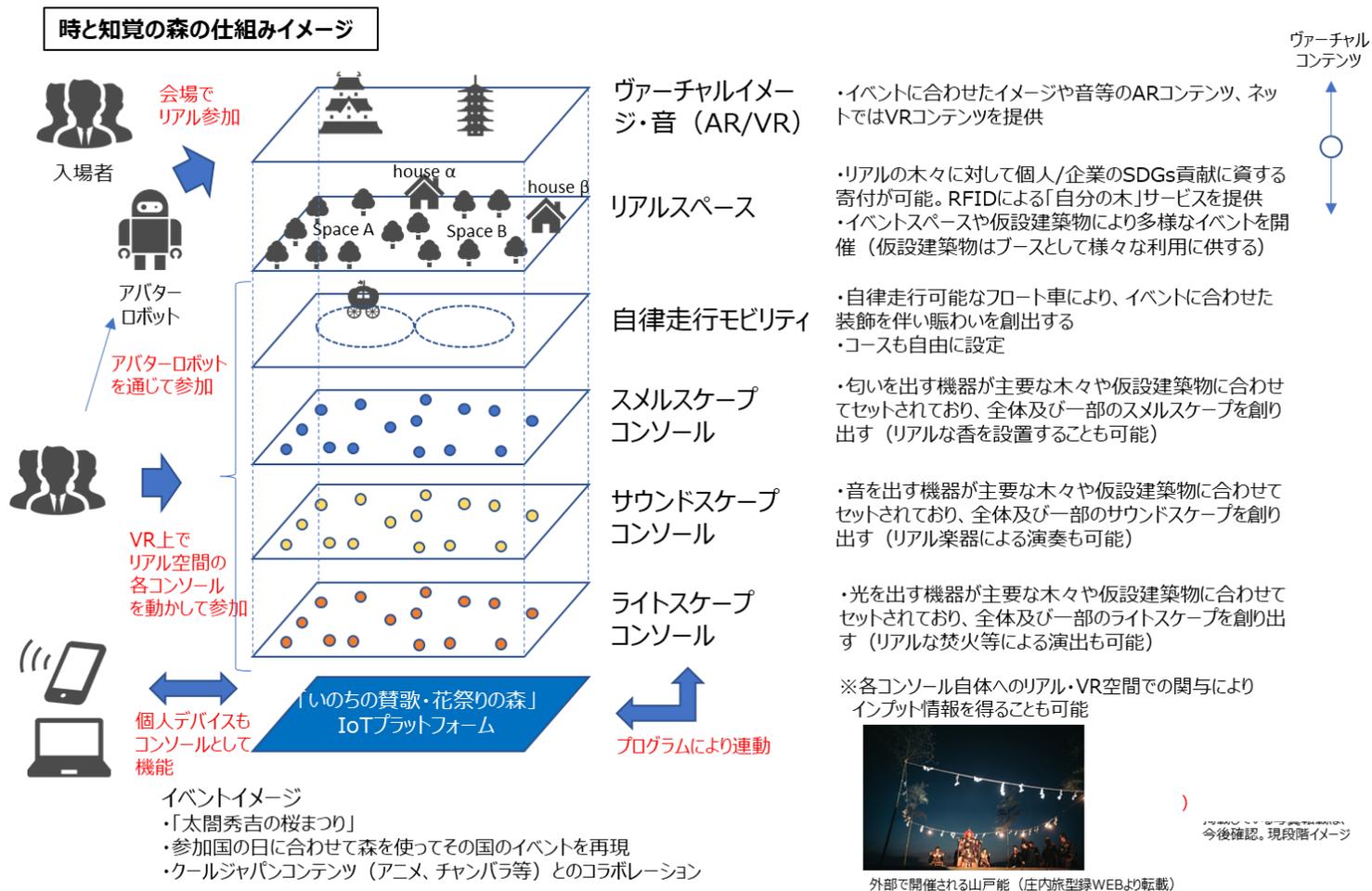
ヨーロッパの五月祭 (個人ブログより)



ジャカラダの木(個人ブログより)

「いのちの森」で「いのち」を感じる社会実験を

- 都市のVR散歩は様々あるが、森林や植物の表現は難しく進んでないと思われる。また、都市のリアル感と比較的映像情報に依存する一方で、森林や海といった自然は、それ以外の体感的要素に依存する割合が高い。
- こうしたことから、「いのちの森」は、音、香り、気温、風、振動など「いま、そこにいるような感覚」をVR・ARで伝える大規模な実験場としての価値がある。また、心理的な効果モニタリングすることで、リアルにGWに会場に来場した人と、VRで来場した人での比較実験もできる。
- 「いのちの森」では、単なるランドスケープをデザインするのではなく、様々な感覚を呼び覚まし、「いのち」を感じる社会実験をする。



2. 日本文化・最先端技術の融合で「いのちの森」を創る

日本文化と「いのち」の象徴の『桜』

『桜』 =いのち

古来から桜の木は日本人の生活と文化のそばにあった。縄文時代にあたる山内丸山遺跡で桜の木片が発掘されている。神話にも出てくる山高神大桜は樹齢1800年～2000年と言われ、『桜』は日本の歴史と文化において「いのち」のパワーに満ち溢れ、「いのち」への願いを託す「いのち」を象徴する花木である



信仰

古来、桜は農耕民族であった日本人にとって、田の神が宿る花であり、田植えから収穫までを守ったとされる

美しさ



視界を桜色に染める景色と散り様も人の心を魅了する



大和心

精一杯咲き誇る姿は生を全うして散る人生を、若葉や伸びる枝の勢いは、未来への力強い歩みを映す

力強さ



太く根を張り何百年、何千年を生き抜く力

いのち

Saving Lives
いのちを救う

祈り・信仰
神の宿る木

日本文化

Empowering Lives
いのちに力を与える

祭り（日本独特のお花見文化）
春の訪れ、門出を祝う花

最先端
技術

稀少品種や銘木、歴史的価値のある
樹種の保護の保護

Connecting Lives
いのちをつなぐ

伝統・文化を継承する

稀少品種や銘木、歴史的価値のある
樹種の再生と継承

「いのちの森」で表現する『日本文化』

◆ 日本文化

歴史的
エンターテイ
ナーである
太閤豊臣秀吉



関西で商業や文化の礎を構築した人物に太閤豊臣秀吉がいる。秀吉は人を喜ばせることが大好き、すなわち無類のエンターティナーであり、花見、能楽、茶道といった日本の伝統的なエンターテイメントが関西で育まれる礎になったと言える



秀吉が慶長3年に催した「醍醐の花見」は、多くの技術を集結した「日本初の花見の大祭典」であった。秀吉は短期間に醍醐寺伽藍の復興を成し遂げ、700本もの桜を植え、花見に招待した1300人も女性たちに着物を注文した。これは、戦と慶長伏見地震による経済と人心の復興の祈りが込められた、まさに人々にいのちの力を与えるお花見であった。

花見



太閤秀吉の「醍醐の花見」は現在の花見スタイルの発祥

衣



醍醐の花見では女性に3着づつ着物を与え衣装替えを行った

茶道



開祖は千利休。簡略化された作法で行う屋外の野点もある

能楽



能を大成した観阿弥と息子の世阿弥は、京都へ進出し醍醐寺で興業し能楽をを広めた

うた



桜の美しさや情景を詩や俳句で表現する

菓子



太閤秀吉の醍醐の花見で振舞われたお茶菓子が三色団子である

弁当



重詰弁当は安土桃山時代に物見遊山の為に作られたのが始まりである

酒



日本酒は地域ごとに銘酒があり、お花見にはお酒がつきものである

庭



太閤秀吉が造園した醍醐寺三寶院 (写真：醍醐寺三寶院)

寺社建築



釘や接着剤を使わない伝統技術であり、分解、組み立てが可能。

「いのちの森」で実装する最先端技術例（桜のモデルケース例）

◆最先端技術例 《クローン技術・バイオテクノロジー》

桜のクローン技術（日本全国の有名な桜・歴史的価値のある桜・稀少品種の桜 他）

【モデルケース例】

歴史的価値のある桜
をクローン技術で再
現する



太閤秀吉が愛した醍醐寺のしだれ桜



日本最古の桜図鑑「倭花名品」（醍醐寺所蔵）に描かれる桜を復元する

【モデルケース例】

日本全国の有名な
桜、稀少品種、天
然記念物に指定さ
れる桜をクローン
技術で再現する



福島県 三春滝桜 樹齢推定1000年以上



岐阜県 淡墨桜 樹齢1500年超



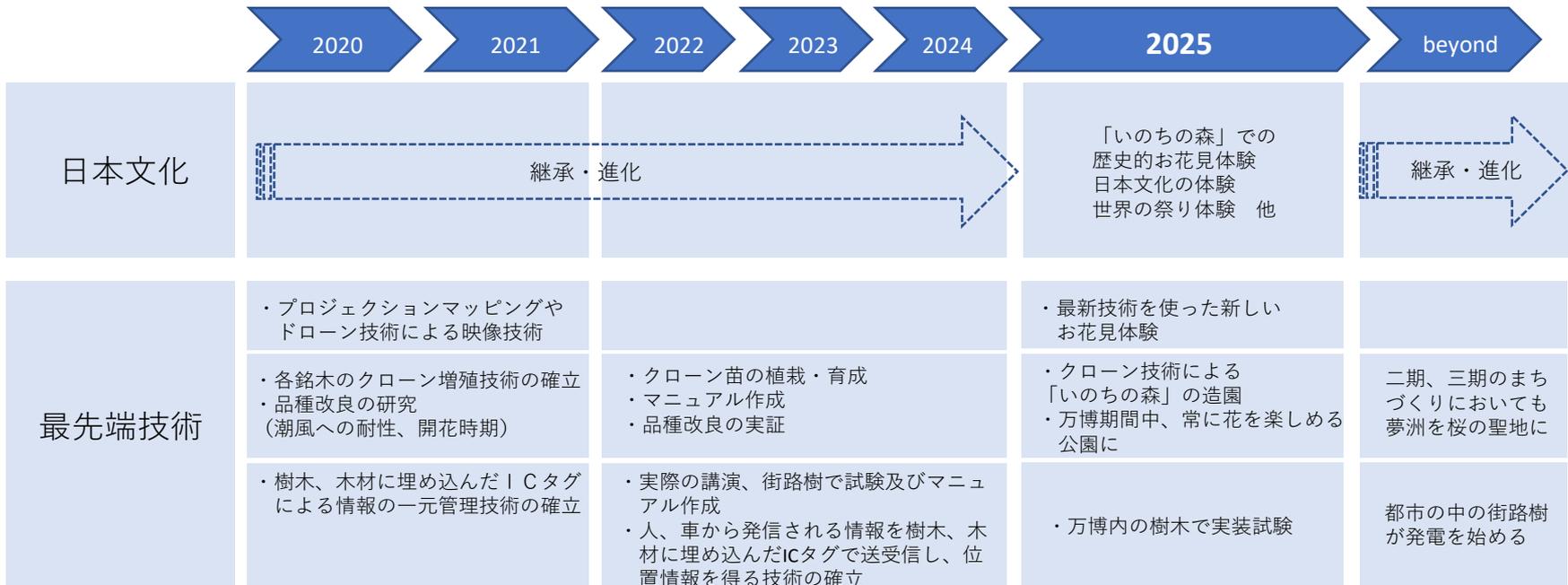
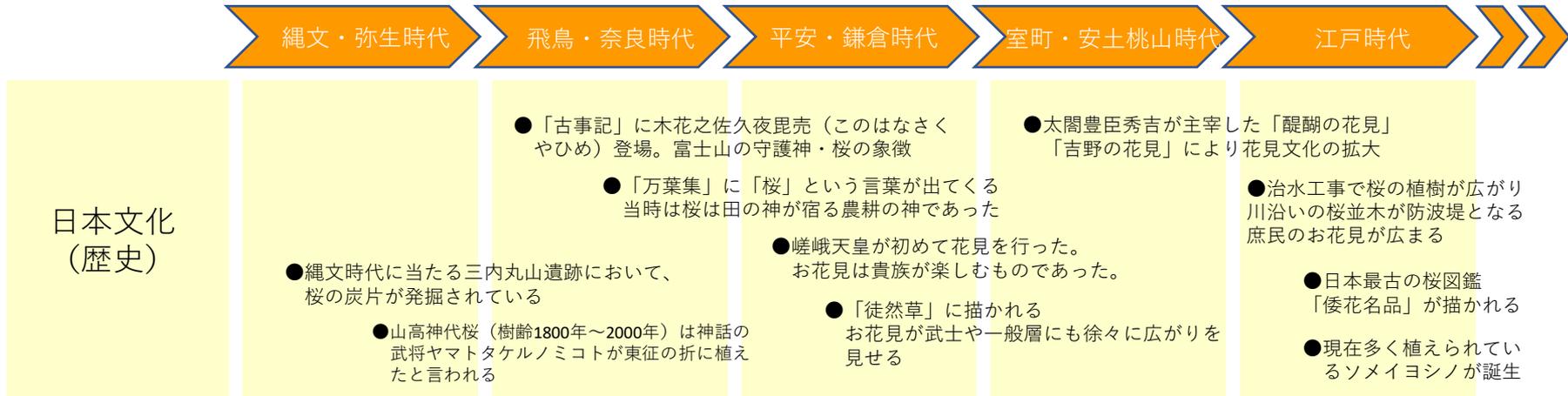
山梨県 山高神代桜 樹齢1800年～2000年

桜の品種改良



- ・海辺の潮風に強い品種改良
- ・春だけでなく、夏など、万博会期中に楽しめる桜

桜の文化（歴史）と未来



「いのちの森」で実装する最先端技術例（グリーンインフラのモデルケース例）

次世代型環境共生都市の基盤となるグリーンインフラ技術

【共生】



自然、まち、人が お互いに生かされる

木々が情報を発信することで、木々がまち、人を見守り、安心して生活できる環境をつくる

新しい街路樹によ るまちづくり

木々が人や車などを認識し防犯カメラ等の役割をはたす。グレーインフラが減少し、緑豊かなまちづくりが可能となる

【SDGs】



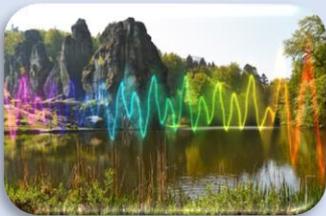
都市部の緑の増加 地球温暖化の防止

気候の変動を防止し、住み続けられるまちづくりや陸の豊かさを守る等の目標に寄与する

自然豊かな開発 途上国の躍進に

自然環境が残っている開発途上国の自然資産を活かし、貧困をなくすことや健康、教育、不平等をなくすことに繋がり、誰一人取り残さない世界の実現に寄与する

【技術】



ICTタグによる一元管理 や位置情報、見守り

個体情報を記憶させることで、植え替え時期や剪定の管理が可能また徘徊者や不審者、交通等の情報を発信し、まち、人を見守る

災害対策

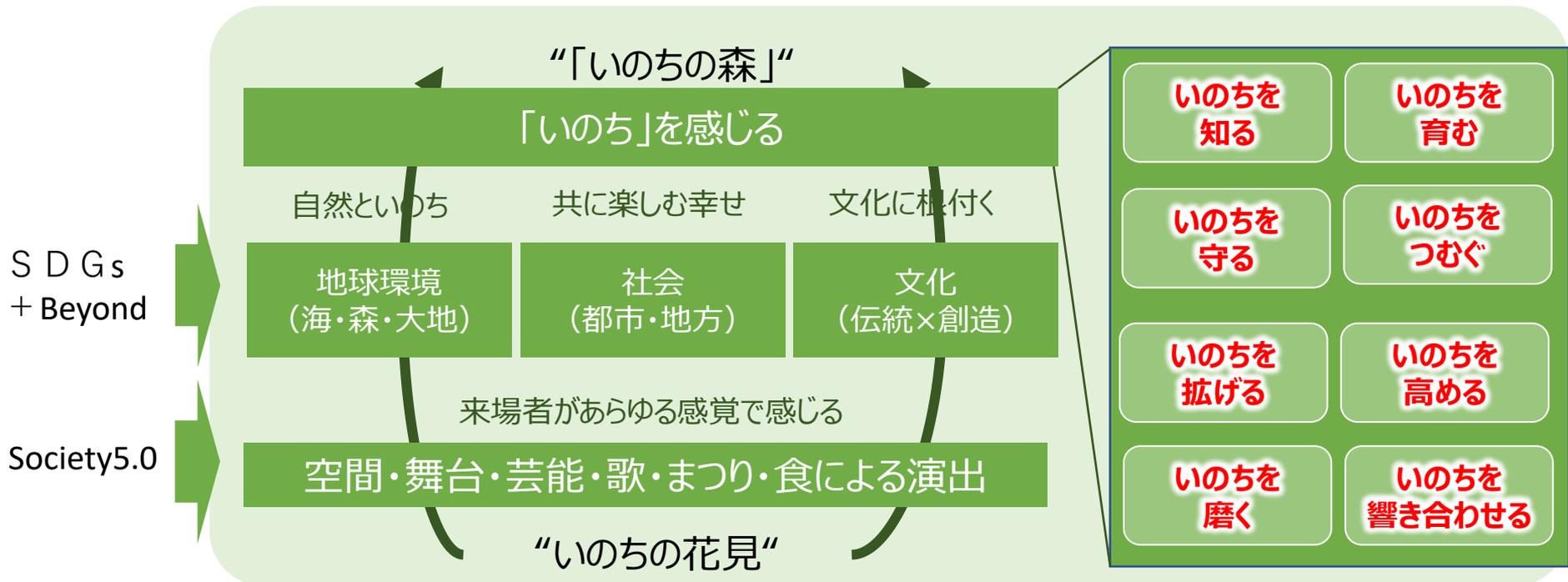
台風による倒木、がけ崩れの早期発見など、木々が情報を発信する蓄電の機能を付与することが出来れば停電時にも役立つ

3. 「いのちの森」の考え方

「いのちの森」の考え方

1. 概要

- 「いのちの森」を「生きること、いのちを感じる場」として位置づける。
- ここでは、祝祭性のある、多様な参加型イベントを繰り広げる。期間を通じて「いのちの賛歌」ともいえる「花見」をリアル、バーチャルで開催する。
- いのち（8つの事業テーマ）×文化（伝統×創造）×地球環境（海・森・大地）×社会（都市・地方）を感じる森とする。
- 様々な文化を味わいながら、生きるとは何か、いのちとは何かを思い返してもらう。



「いのちの森」を「いのち輝く未来社会のデザイン」を体感する場に

木々や仮設建築物等によって緩やかに文節された空間の中で、先端的なICTシステム (Society5.0)によってこの場に存在しない人も含めて、たくさんの人とのつながり、「いのち」の調和等、生きることの意義について考える場となる。

- 人類がこれまで歩んできた道、先人たちがつないでくれた「いのち」を考える。
- これから人類が、後進たちに伝えたい思い（SDGsや世界調和）について考える。
- 世界とつながり、世界の多様性を感じる。

| | 「いのちの森」 | パビリオンを中心とした空間 |
|----------|----------------------|---------------|
| 大きな位置づけ | 文化 | 文明 |
| | 自然 | 都市 |
| | 万物との歴史的つながり | 万博の理念継承 |
| 未来への投げかけ | 技術と生活の共生 | 技術ショーケース |
| | 様々ないのち | 人のいのち |
| 海との関係 | 西日本と瀬戸内海 海のシルクロード | 新しい人工島 |
| | 豊かな森と豊かな水 | 海の保全と活用 |

日本文化と世界との共有、リアルとバーチャルと連動し、感じる

日本文化と世界との共有、リアルとバーチャルの連動による、

「いのちを感じる、幸せになる仕掛け」 「歴史・文化を感じ、会場に行きたくなる」

「世界のいのちを考え、理解しあう」 「新しい世界像を考える機会となる」 ことに取り組む。

- 世界中の花見体験や花祭りをはじめ、世界中の人々が**エンターテインメント**を楽しめる。
- 世界中の**若手建築家のコンペ**による仮設建築物を設置。「いのちの森」をテクノロジーと伝統を掛け合わせるテックエンターテインメント（「バーチャル太閤さん」や「世界で踊るイベント」等）を創る魅力ある空間とする。
- ICTを活用し、**花木とコミュニケーション**が取れるような空間を演出する。
- 潮風の厳しい環境でも美しい日本公園をするとともに、季節を問わずお花見が楽しめる**植物管理技術を実現**する。
- 万博後も引き続き人々の記憶に残り、SDG s の世界の実現に貢献し、**継続的に来訪される場所**を目指す。

| | | リアル | バーチャル |
|--------|--------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 演出・仕掛け | 日本文化 | いのちを感じる、幸せになる仕掛け 各地の桜、クローン桜 屋台・朝市・産地直送 能舞台 日本庭園 桜や花木でグリーンインフラ | 歴史・文化を感じ、会場に行きたくなる 茶室・茶店 日本各地のお祭り バーチャル太閤さん バーチャルチケット 歴史旅行・名所旅行 |
| | 世界との共有 | 水資源 コロナ対応 パーソナルモビリティ ゴミなし・再生エネ 建築物は国際コンペ 木造建築 世界のいのちを考え、理解しあう | 桜や花木でお花見 世界のお祭りを体験 世界で踊るイベント 世界各地にお花見文化 VRゲームとの融合 新しい世界像を考える機会となる |
| | | | |
| | | | |



「いのちの森」は
「生きること、そして、
いのちを感じる場」

「考える」のではなく
「感じる」

AR・VR IoT AI ブロックチェーン モビリティ ドローン バイオテクノロジー…

森へのいざない、森に包まれ、人と自然との関係性を感じることで、何かを見出す

人のにぎわい

お花見と祭りの庭

- ・桜やジャカランダ等、世界の人々が愛している花木が、春夏秋と万博期間中咲き香る。
- ・桜だけでなく色々な花木のお花見や国内外のお祭りを開催し、花の下で多様な人々が交流し、楽しい時を共有する。

リアルによる演出

- 多様な地域に根差す文化の体感
- 多様な生活文化、いのちの営みを感じる

来場者の五感の感じ方

- リアルなおおい、音、視覚、味

バーチャル

- 事前イベントVR参加
- オンラインショップ

広く、深くつながる人々・文化

森へのいざない

森羅万象に「いのち」が宿る

- ・ざわめきの会場から静かな森にいざなわれ樹々や鳥や小さな虫のいのちと人のいのちが響き合う。
- ・静かな森で、森羅万象に「いのち」が宿る日本ならではの生命観や自然観を、日本人だけでなく世界からの来訪者にも感じていただく。

- 自然と人との間に織りなされている文化
- 自然の中に身を置き、自然との対話、感謝を感じる文化

- 花の美、木の触感、花木の香り、木漏れ日、葉のざわめき

- 世界の花見VR参加
- クラウドファンディング

森の恵みと文化創造

フォレストベース

- ・森の恵みを活用することをテーマとして、近畿圏を中心とした間伐材を活用した仮設建築物を設置する。
- ・仮設建築物の設計は、若手建築家を対象とした国際コンペとし、若手建築家の世界への登竜門とする。
- ・万博終了後は移設させて、レガシーとして他の場所で活用することも検討する。

- 心、技、体が織りなす芸術を感じる
- 先人に思いをはせ、改めて「いのち」を感じる

- 演技、音、空気、心のゆらぎ

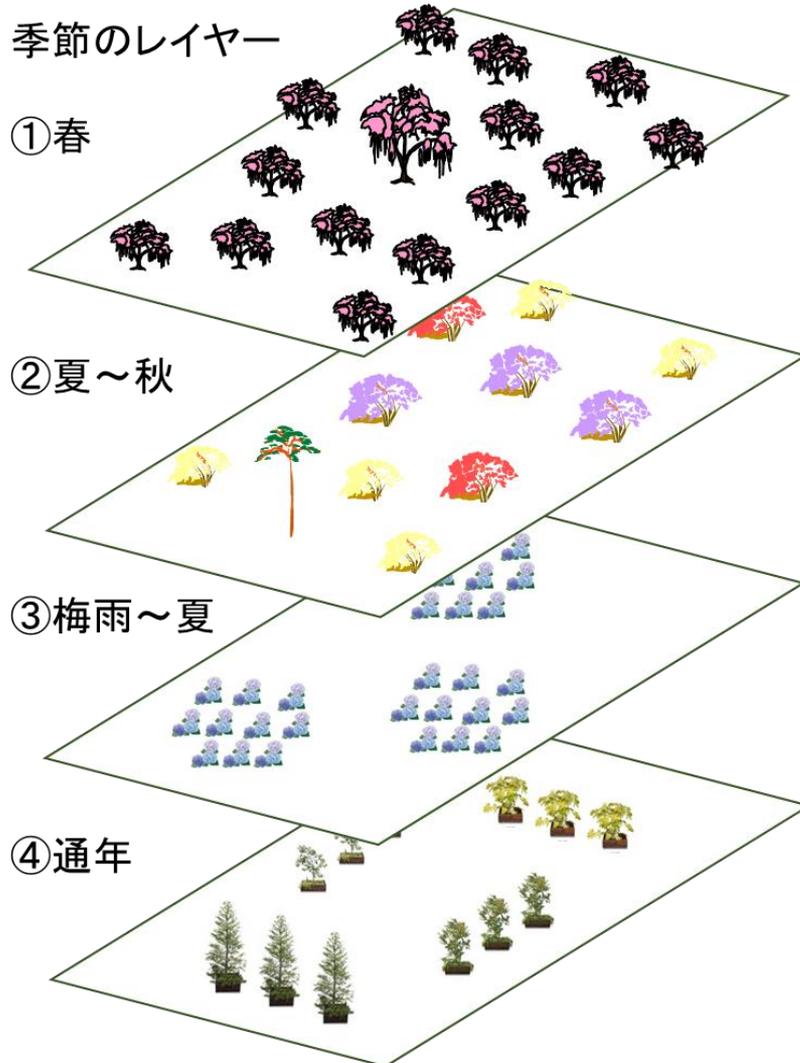
- オンライン視聴
- ファンクラブ

「いのちの森」全体でデジタル技術を活用したエンターテインメントが楽しめるとともに、環境配慮、文化活動、国際貢献活動や参加満足データを蓄積し、ポイントインセンティブにより、SDGs貢献意識向上につながる仕掛けを取り入れる。

4. 「いのちの森」における演出（花木）

リアルの演出のシンボルは、「桜」をはじめとした花木

日本文化の根底にある「森羅万象にいのちが宿る」、「静と動」、「四季」、「昼夜」、「人と自然の共生」を背景に、「いのち」の象徴でもある日本中の桜や世界の人々に愛されている花木を植え、世界中から参加したくなる幸せの森を創造する。



開催期間中お花見が可能

コンセプトのレイヤー

- ①ベースコンセプト
伝統、歴史、日本固有、
 - ・日本の代表的な娯楽である桜の花見で世界からのお客様を迎える。
 - ・開催日に桜が間に合わない場合は、プレオープンとして、ネット配信。
- ②関西だけでなく全国、世界で支えるノーマライゼーション、鎮魂、防災
 - ・47都道府県の名木を植栽。
 - ・世界で花見の対象になっている花木を植栽。
 - ・奇跡の一本松をシンボルツリーとすることにより、被災者への祈りや鎮魂、災害への備え、日常の大切さを再考。
- ③世界でも注目される日本の園芸文化技術、伝統、季節
 - ・アジサイやアサガオといった各時代で園芸ブームを起こし、世界的にも有名な植物の花見を実現。
- ④日本の造園技術
 - ・盆栽から発想された新技術である薄層植栽を披露。耐潮性植物で常緑。



「いのちの森」のイメージ例：桜



「いのちの森」のイメージ例：ジャカランダ

万博期間中の植栽参考イメージ例

| | | 時 期 | | | |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 木の大きさ | | 4~5月 | 6~7月 | 8~9月 | 10月 |
| 高木 >5m | <p>サクラ</p>  | <p>ジャカランダ</p>  | <p>クチナシ</p>  | <p>ムクゲ</p>  | <p>マテバシイ クロガネモチ</p>  |
| 中木 3~5m | | | <p>ヤマモモ</p>  | <p>サルスベリ ノウゼンカズラ</p>  | <p>十月桜</p>  |
| 低木 3m> | <p>ユキヤナギ</p>  | <p>アジサイ</p>  | <p>キンシバイ</p>  | <p>フヨウ</p>  |  |
| 草花 | <p>ハマヒルガオ</p>  | <p>アサガオ</p>  | <p>ユウガオ ヨルガオ</p>  |  | |

桜の仲間

バラ科の仲間

キイチゴの仲間



キイチゴ、ブラックベリーなど

バラの仲間



バラ、ハマナスなど

サクラの仲間



ウメ、アンズ、モモなど

ナナカマドの仲間



ナナカマド、アズキナシなど

ビワ、シャリンバイの仲間



ビワ、シャリンバイなど

コデマリ、カナメモチの仲間



コデマリ、カナメモチなど

ナシ、リンゴの仲間



ナシ、リンゴなど

その他の仲間



イチゴ、カリン、アーモンド、ボケ、ユキヤナギなど

6. 「いのちの森」における演出（ICT・AR・VR活用）

※今後、各領域に関連する企業やアカデミアの参画により構築

人・花木・文化・最先端技術がつながる「緑とICTのショーケース」例

